城北まちづくり
いきいきプラン

元気で楽しく心地よく
住んでよかったと
実感できる城北へ！

平成23（2011）年３月

鳥取市　城北まちづくり協議会

城北まちづくり いきいきプラン

元気で、楽しく、心地よく、住んでよかった と
実感できる城北へ！

1　このプランは、住んでよかった！と実感できる城北のまちを実現するために、町内会長など地域や公民館で中心となって活動している80余名の委員が、平成21・22年度の２カ年間、協議してまとめたものです。

2　教育や福祉など住民生活の６つの分野について、先進地や住民の方への調査等をもとに、将来に向けての城北のまちづくりの計画・内容がまとめられています。

3　このプランを基礎として、各町内会の活動や地区行事等の住民活動がよりよく改善・充実され、その結果として、住民が互いに助け合いながら、豊かな城北ライフ（城北の地域生活）を実現されるよう願っています。

目　　次

1　城北地区まちづくりのあゆみ ―― 3
（1）城北自治組織の結成と活動
（2）城北地域づくり懇話会の取り組み
（3）城北まちづくり協議会の結成

2　城北まちづくりのめざすもの ―― 5

3　城北まちづくりプラン ―― 6
（1）地域の基盤整備プラン
（2）教育文化振興プラン
（3）福祉プラン
（4）公民館活動とコミュニティづくりプラン
（5）地域の安全・安心対策プラン
（6）生活環境・健康・食生活の改善対策プラン

4　プラン作成に携わった委員 ―― 16

1 城北地区まちづくりのあゆみ

(1) 城北自治組織の結成と活動…環境や団体の整備と地区事業の定着

昭和45年に結成された城北自治組織が中心になって、城北地区内の未舗装の街路や側溝、公園などの環境改善に取り組んだ。そして、城北地区自治連主催の「市長との対話集会」を開催するなど要請活動を展開し、昭和57年にはほぼ完備された。

一方、地区内の各団体の組織がほぼ現在の団体に整備されてきたのも、この時代である。

その間、校区住民親善運動会、地区敬老会、城北納涼まつりなどの地区三大イベントも定着されていった。

(2) 「城北地域づくり懇話会」の取り組み

城北地区のまちづくりは、昭和50年代でハード面や組織の整備をほぼ終わり、新しいまちづくりの時代を迎えることになった。

成熟社会で多様化する住民のニーズを受け止め、どのようにして地域住民の総意を結集し、地域を活性化するかが課題であった。

その答えとして組織されたのが「城北まちづくり懇話会」である。「地域づくりに関する重要な事柄を協議し、住民の合意を求めるとともに、地区内各団体の活動方針や事業等の調整を行い、各団体の整合性を求め効果的な活動を推進すること」を目的に平成４年に発足した。

城北まちづくり懇話会の話し合いのなかから…① 敬老会の招待年齢引き上げに対する「城北方式」の採用 ②城北「ひまわり章」の設定、③「城北地区各団体合同新年祝賀会」開催の恒常化 ④「城北小学校校舎改築促進協議会」の結成・活動と校舎改築の実現 ⑤学校週５日制の実施に伴う「城北っ子支援会議」の発足 ⑥地区推薦市議会議員の最高位での誕生 ⑦「城北太鼓クラブ」の創設など 多くの課題に対し適切な決定がなされ、住民活動を活性化し成果を挙げてきた。

特に、平成８年の「地域づくり懇話会（市長地区めぐり）」に際して、５項目の提言、要望を取り纏め提出した。その１項目に地区公民館のあり方について、公民館にコミュニティセンターとしての機能を持たせ所管を市長部局に移すこと、運営経費の配分を人口などを考慮した傾斜配分にすることなどを提言、以後開催された「懇談会」にも引き続き提言した。この提言が今日の「地区まちづくり協議会」への流れをつくるさきがけとなった。

(3)　城北まちづくり協議会の結成

平成20年７月より、城北地区に「まちづくり協議会」を立ち上げるため、地区住民各層を網羅した委員88名による準備会を結成・開催し、まちづくり協議会規約案ならびに組織について骨子を取り決めた。

平成21年１月23日、設立総会を開催。規約ならびに役員を承認し、名称を「城北まちづくり協議会」に決定して地域のプランづくりに取り組むこととした。

この協議会の目的

この協議会の目的は、魅力ある住み良いまちづくりを推進するため、市と連携のもと、城北まちづくり計画の策定およびその推進を図ることである。

この協議会の特色

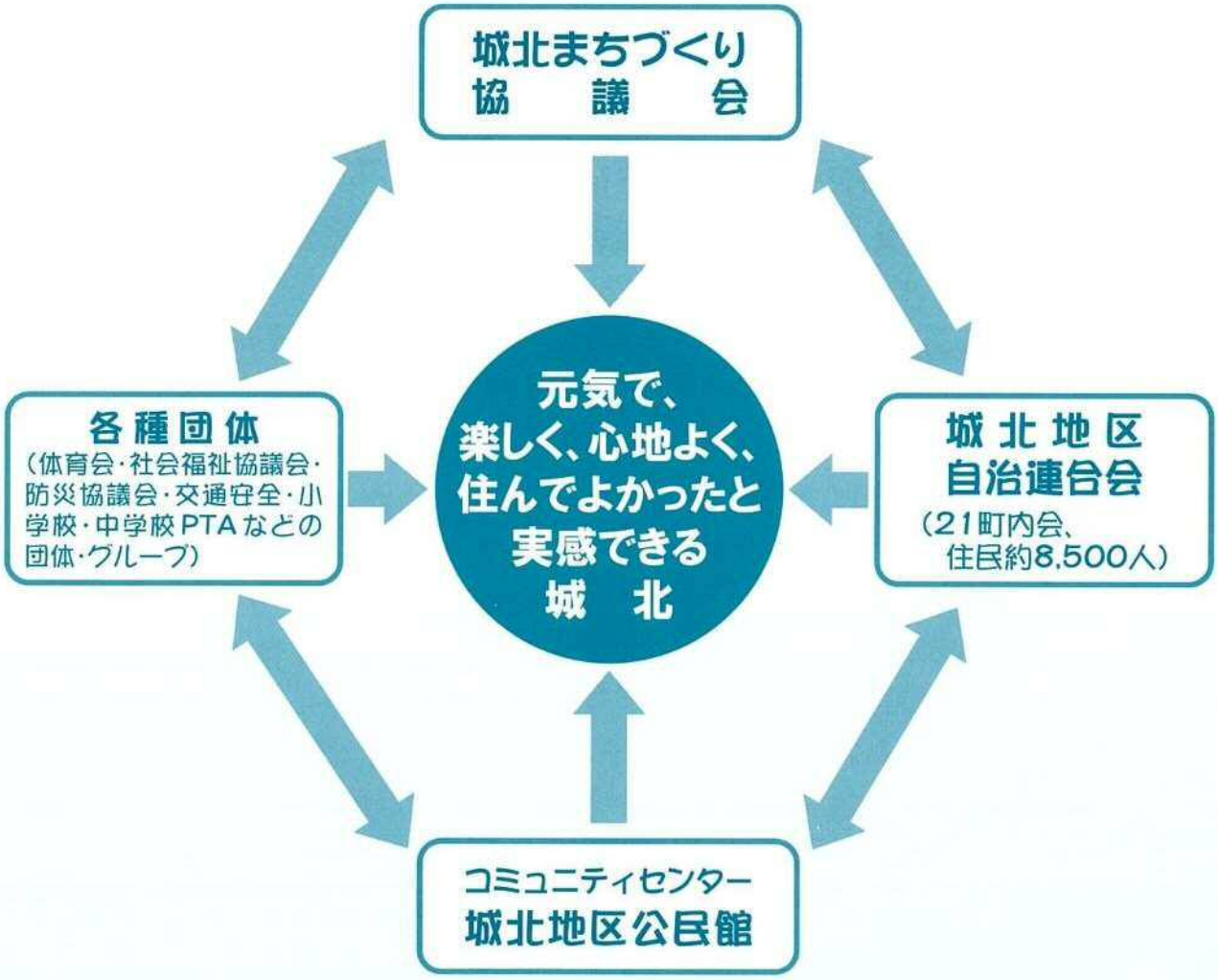
本協議会の設立に伴い　既設の「地域づくり懇話会」ならびに「教育・福祉関連特区推進協議会」を発展的に解消した。

城北地区の住民活動は、永年の熱心な先輩諸氏の努力で「地域コミュニティ」を活発にした組織として高く評価されており、地区自治活動ならびに公民館活動の生涯学習体系も、先達たちがつくり上げてきたものを尊重することにした。

本協議会は、既設の「地域づくり懇話会」「教育・福祉関連特区推進協議会」の位置付け同様に、城北地区自治連合会等に並行的位置付けとし、地区全体の住民活動等を総合的に企画立案・調整し、政策的に推進するものである。

2 城北まちづくりのめざすもの

城北まちづくりのめざすもの



3 城北まちづくりプラン

(1) 地域の基盤整備プラン

Ⅰ 基本コンセプト

コミュニティ活動の推進にあたり充実した施設環境が整った城北をめざして

Ⅱ いま、城北地区に何が必要か、地域活動、地域福祉、教育文化振興の充実を図るために

1 鳥取市北部地区住民活動の拠点施設建設用地として、旧鳥取警察署跡地の取得・活用
2 地域活動推進のための、城北地区公民館の移転・新築
3 住民福祉推進のための、コミュニティ活動の拠点施設の建設
4 城北保育園の移転・新築
5 地域の安全を守るための消防署、交番の設置
6 県道伏野覚寺線の丸山交差点より覚寺口までの歩道拡幅整備　等

(2) 教育文化振興プラン

Ⅰ 基本コンセプト

住民一人ひとりのエネルギーで沸き立つ魅力あふれる城北をめざして

Ⅱ 私達はこんなまちづくりをめざします

1 伝統文化を大切にするまちづくりをめざして

- 沸き立つ気持ちを大切にして、響き合う活動や行事をつくり上げていきます
- 城北文化祭・城北太鼓などの伝統行事、芸能を大切にして次代に引き継いでいきます
- 地区内に根付いている歴史ある伝統・文化を大切にします
- お互いに協力し、支え合う体制（サポーター・ネットワーク）の輪を拡げます
- 地域住民が気楽に参加出来る全員参加型の伝統行事を企画し広報・運営していきます

2 たくましい子どもが育つまちづくりをめざして

- 子どもへの「声かけ・呼びかけ・働きかけ」を大切にし、町内行事・ラジオ体操などを利用して「ふれあい」の輪を拡げていきます
- 子どもや地区住民のニーズ及びアイデアを教育文化活動に取り入れていきます
- 各団体との協調により、行事にレクリエーションを取入れるなどして、親と子どもと住民が参画・交流しやすい行事や活動を企画します

3　教育文化活動の拠点づくりをめざして

- ●座談会やワークショップなど、さまざまな教育活動・文化行事を積極的に企画立案し地域全体で盛り上げます
- ●プロジェクター、パソコンなどの機器を充実させ教育文化活動・広報に活用していきます
- ●気軽に集える場、多目的集会場（他地区との交流、学童保育…）をつくり上げていきます

4　男女共同参画を促進するまちづくりをめざして

- ●男女共同で地域活動に参画できる環境づくりに努めます
- ●女性の自治活動への参加を促進し、女性の声を反映させます

5　明るい心と体の健康つくりをめざして

- ●各団体が連携して、校区スポーツ行事・競技内容を企画・運営していきます
- ●城北体操、しゃんしゃん体操、城北音頭などを普及させ健康づくりや町内活性化に役立てます
- ●重箱公園や近隣の地区公園の芝生化をすすめます
- ●県道からのアクセス道路の整備等、城北体育館の利便性をたかめます
- ●スポーツに親しみやすい環境づくりに努めます

(3)　福祉プラン



Ⅰ　基本コンセプト

やさしいまなざし、
　明るい笑顔があふれる城北をめざして

Ⅱ　助け合いのネットワークを広め、気づきと思いやりで、安心・安全な城北をめざすために

1　高齢者支援ネットワークの充実

- ●防災、防犯などの緊急時の対応として、支援ネットワークの充実を
- ●日常の生活支援として、相互支援ネットワークの充実を

2　街づくりネットワーク「愛城」の充実発展

- ●「愛城」の利用促進の啓発・研究
- ●コミュニティビジネスの研究（配食サービス、コミュニティレストラン、短時間保育など）

3　高齢者、障がい者などが気楽に集える場所の設置

●特にひとり暮らし高齢者や障がい者の気楽であたたかい「たまり場」のような居場所づくり

4　バリアを無くし、みんなが利用できる施設などの環境整備

●公民館のバリアフリー化

●歩道などの整備（接触マットの設置、段差解消など、障がい者を交えての点検活動）

5　児童、生徒への安全対策

●あいさつ運動、声かけ運動、地区住民の見回り活動への積極的参加

6　高齢者、障がい者などが気軽に出かけるための交通手段の確保

●循環バス城北路線の実現

Ⅲ　一人ひとりが大切にされ、生かされる共生の城北をめざすために

1　多様な人との交流をはかる

●障がいのある人もない人も、子どもから高齢者まで、みんなが互いに理解し尊重しあってふれあうための活動

2　子育て支援活動の充実

●放課後児童クラブとともに、そこに入っていない子どもたちへの支援

●短時間保育、一時預かりなどの支援

Ⅳ　住民一人ひとりが共感し、参画できる城北をめざすために

1　町内会単位でのふれあい活動の充実

●各町内会が、実状に応じて、みんなが楽しめるよう工夫・改善・充実する

2　ボランティア活動への参加促進

●新たなる人材を発掘し、自助・共助・協助のボランティア活動を活性化させる

Ⅴ　鳥取市（行政）との協働で、福祉のまち『城北』の実現をめざすために

1　行政との協働

●行政と地区住民の意思疎通をはかる場の設置

(4) 公民館活動とコミュニティづくりプラン

Ⅰ 基本コンセプト

住民が、地域を愛し、明日への希望をもって心豊かな生活を送るための支援ができる公民館活動をめざして

いつでも誰でも住民の → **願いが叶うしたいことができる** → **「コミュニティ・センター」（城北地区公民館）** → **への道を求めて**

Ⅱ 人が育つ場・人を育てる場・コミュニティ活動の拠点としての公民館の施設や活動の充実を図るために

望ましい機能として

1 集団的活動拠点機能・・・・・・大ホール（多目的用途で３００人収容）、各種研修室、和室、団体の活動・交流室、印刷室、コンピューター室
2 福祉的拠点機能・・・・・・・・福祉相談、健康相談、交流スペース
3 交流とたまり場的機能・・・・・談話室、喫茶室、読書コーナー
4 学習活動拠点機能・・・・・・・図書室、地域学習・資料室、視聴覚室、調理室、工芸室、音楽室、相談室、食品加工室
5 文化的活動拠点機能・・・・・・ホール、ギャラリー、展示スペース
6 スポーツ的活動拠点機能・・・・体育室、トレーニング室
7 防災拠点機能・・・・・・・・・備蓄倉庫、防災関係用具倉庫
8 保育園と福祉施設等を併設した複合的機能・・・保育室、福祉保健室
9 その他・・・・・・・・・・・・駐車場、倉庫

望ましい施設プラン

○ 鳥取市北部のコミュニティ活動の拠点になる施設に
○ 福祉等の施設を併設した複合的・総合的な施設に
○ 高齢者・障がいのある人等弱い立場にある人の利用しやすい施設に
　＊バリアフリーの施設に（特にエレベーターと各階にトイレの設置、段差解消、手すり、点字案内表示等を）
○ 老若男女みんなが交流できるスペースやホールを持つ施設に
○ 他の人に気がねなく活動できる防音と倉庫の設備がある部屋の設置を
○ 十分な駐車スペース（50～100台）のある施設に
　（災害時に仮設トイレ等の設置できるスペースとして利用可能な構造に）
○ 住民活動の足跡、成果を展示・保存できるスペースを（「城北の宝」記念室）
○ 災害時の避難場所としての機能を備えた防災に配慮した施設に
○ 災害時に備えた倉庫・活動備品を保管できる十分な大きさの倉庫を
○ 社会教育関係団体・ボランティア団体等の活動スペースとロッカーの設置を

Ⅲ 「ともに生き・みんなで育つ」コミュニティづくりのために

公民館を活用したコミュニティづくり

○ 誰もが気軽に立ち寄れる公民館づくりをすすめる
○ 乳幼児・子ども・青少年・高齢者等　世代間交流の推進を図る
○ いつでも、誰でもが相談できる体制づくりをすすめる
○ 各種活動の支援ができる体制づくりをすすめる
○ 青少年、高齢者が出入りや交流のしやすい雰囲気づくり・機会づくりをすすめる
○ ボランティア活動、ＮＰＯの活動を支援し、団体間交流の支援活動をすすめる→リーダーや後継者の養成にも繋げる
○ 地域の歴史・文化（行事）をつなげていく事業をすすめる
○ 子育て活動の支援をすすめる
○ 住民が一体となった活動の支援（あいさつ運動・子ども見守り・声かけ）をすすめる
○ 防災・福祉・文化・健康・人権・子育て等すべての分野への心配り、調整・連携の中心となって機能すること

Ⅳ　地域の特性を生かし、住民の主体的な取組の支援を図るために

公民館活動のたしかめ

○ 住民一人ひとりの生活課題や地域課題との係わりで見直していく視点を
○ 住民と職員との協同と協働の自治を創造するという視点を
○ 公民館が行うことと住民自ら行うことの整理を行い、共通理解を図る
○ 公民館設置のための市の条例・規則についての確認と城北の特色ある内容を加味したものとして運営をする
○ 青少年活動への支援を行う→地域活動への参画を促すよう努める
○ 地域の伝統文化を次世代に継承していく取組の工夫
○ 定期的な意識調査の実施による住民ニーズの把握に努める
○ 社会情勢を捉えた学習内容の設定・改善を図る
（防災・架空請求・消費者教育等）
○ 自治連とタイアップした活動を（活力ある町内にするための各種組織づくりの支援と活動のための研修会開催等）

Ⅴ　その他

○ 地域の人口・公民館利用状況等を考慮した施設の充実、設備および職員配置等の改善を要望する
○ 勤務実態等を考慮した職員の待遇改善を要望する



(5) 地域の安全・安心対策プラン

Ⅰ 基本のコンセプト

地域のくらしと地域住民の安全を守り、安心してくらせる城北をめざして

Ⅱ 防災対策

1）自主防災会の充実

- ○ 町内の実情にあった防災訓練を行う
- ○ 防災対策協議会の訓練と連動したものを行うようにする
- ○ 地震時・水害時など災害別の避難場所・経路を決めておく
- ○ 避難場所・経路を掲示するなど周知を図る
- ○ 防災マップを活用し、高齢者・障がい者・一人暮らしの方等の救護の方法を決める
- ○ 防災指導員の活用

2） 各家庭でできること

- ○ 家族で災害対策の備えや避難方法を話し合う
- ○ 具体的に非常時の備えをする（飲料水・トイレの水・非常食・ラジオなど）

Ⅲ 安全・安心の暮らしのために

1）コミュニティ活動の充実で事故のない地域に

- ○ 挨拶・声かけ・見守り活動を子ども・高齢者などを中心に広げていく
- ○ 児童の交通安全・防犯対策のパトライト活動を地区全体の力で充実・発展させる
- ○ 交通安全教室・防犯教室などの実施と参加者を増やす
- ○ 住民のパトロール活動の推進
- ○ 高齢者への押し売り・振り込め詐欺等の被害防止

2）施設面の充実

- ○ 街灯・防犯灯の積極的な設置
- ○ かけこみこども１１０番の数増加
- ○ 児童の防犯ブザー所持率を１００％に
- ○ 危険箇所の把握と改善
- ○ 交通安全の施設充実と点検整備

Ⅳ その他

- ○ 安全確保のために関係諸機関（保・小・中・ＰＴＡ・交番・交通安全協会）の連携を図る

(6) 生活環境・温暖化・健康・食生活の改善　対策プラン

Ⅰ　基本コンセプト

自然をはぐくみ、健康で快適にくらせる城北をめざして

Ⅱ　インフラ・美化・景観づくりの推進

～協同と協働で、安心でさわやかな城北をめざして～

対策プラン

① 狐川の水質浄化や美化安全整備に対する行政への働きかけを強化し、成果ある運動の展開

② 狐川の水質浄化と美化のための住民活動の推進

○ 生活雑排水やゴミを狐川や側溝に捨てない　○ 狐川土手の清掃や植栽管理

③ 市道（松並～出合橋線）マルワから出合橋間の一方通行の規制解除

④ 地区内街路の車道、歩道の段差の解消と電力・通信線の地中化の促進

⑤ 高齢化に対応した地区内交通網の整備

○ １００円バス等の運行　○ 公共交通網の増便などの利便性の向上

⑥ 地区内の買い物難民をつくらないための対策推進

○ スーパー・商店の誘致　○ 巡回マーケット　○ 隣近所の助け合い等

⑦ 地区内美化の推進　～城北を美しくする運動の推進～

○ タバコのポイ捨て　○ 落書き　○ 道路にはみ出した庭木の剪定

○ 路上駐車　○ 犬猫の放し飼い　○ 騒音防止　○ フラワー通りの設置

○ 町内一斉清掃日を増やす　○ 町内や家庭での花づくり

○ 袋川土手の清掃や植栽管理

Ⅲ　温暖化防止（省エネ、省資源）対策の推進

～一人ひとりがくらしを見直し、温暖化を防ごう～

対策プラン

① 自家用車の利用を見直し、健康と省エネの実践

○ 地区内や近距離区間では自家用車を利用しない生活習慣

○ 駐車、長時間停車時のアイドリングストップの励行

○ エコカーの利用　～ガソリン車からＥＶ車へ～

② 高齢者優遇バス・公共交通網の整備促進

③ 風力・太陽光発電などクリーンエネルギーの利用促進

○ 太陽電池の利用促進

○ 補助金制度の拡充と利用促進

④ 冷暖房の設定温度の管理と熱効率を高める工夫

○ 冷暖房の上手な使い方の工夫

……窓のカーテン・窓の工夫・設定温度をシビアに

○ 夕方の暖房を止め、隣同士で街路等に打ち水をする（隣近所の連携）

⑤ 家電製品などの使い方の工夫

○ テレビを見る時間の短縮、番組の厳選

○ 玄関の照明をセンサー付にする

○ 白熱灯から蛍光灯、ＬＥＤへ

○ こまめな消灯　　○ コンセントを抜く

⑦ その他くらしの工夫

○ ふろの残り湯を洗濯に使う

○ 水道水の元栓を全開にしない

○ ゴミの分別の徹底と生ごみの有効活用（堆肥化）

○ マイバック運動の徹底推進

⑧ ペットボトル容器の消費を控える

Ⅳ 健康増進対策の推進

～一人ひとりがすすんで取り組み、健康増進の輪を広げよう～

対策プラン

① メタボ、がん検診の受診率を高める　（早期発見・早期治療）

② 禁煙運動の推進

③ 健康体操の推進と生涯スポーツの振興

○ シャンシャン体操・ラジオ体操・健康体操・城北体操の考案と普及・活用

○ グランドゴルフ・バウンスボール・ウォーキング・スポーツクラブ奨励

○ 健康施設の活用対策への取り組み　（利用優遇制度など）

④　個人または集団で健康ウォークを継続する

○　１日10分～30分ウォーク（目標　男子9000歩　女子7200歩）

⑤　家庭で取り組む生活習慣

○　毎週１回家族全員が体重と血圧の測定、記録の習慣化

○　３・３・3運動（歯磨き）で8020（80歳で20本の健康な歯を）の達成

○　風邪の予防に緑茶が効果的

⑥　心の健康を保持、増進するために

○　誰でも楽しく集える居場所づくり

○　家に籠らず、まず一歩出かける

○　明るい生活―歌の会、踊りの会、助け合い、趣味

○　一人で悩まないで―心のサインに気づく

Ⅴ　食生活改善対策の推進

～安全でバランスの取れた食材と調理の工夫で、楽しい食生活～

対策プラン

①　地域集団農園（遊休農地の活用）による野菜作りと仲間づくり

②　１日１回、米（米粉も含む）を食べる運動や１日10ｇ以下に抑える減塩運動

③　健康食等の料理講習会や試食会などの開催

○　健康食・薬膳料理

○　高血圧、肥満などテーマ別

○　旬の食材料理

○　伝統行事に関連した料理

④　効果があり奨励出来る事例の交換報告会などの開催（個人・地域）

⑤　健康づくりのため、バランスのとれた食事の奨励や食生活指針（マップ等）を作り普及推進する

⑥　城北うまいもの会、城北どんぶり等、特製名物食品を工夫する

⑦　地産地消でより安全安心な食材の消費

4 プラン作成に携わった委員

（順不同）

若林　玄侃	入江　順子	米井孝次郎	沖田　博敬	小谷荘太郎
朝倉　　晋	安治　紘紀	武安　享子	小谷　準一	野田　　収
山根　健嗣	中村　　泉	延田　龍男	宮本　　勲	角谷　敏男
西垣　茂禮	徳本　和江	藤田　是則	吉澤　春樹	西村　　健
尾﨑　　繁	前田　　功	水田　憲夫	入江　敏夫	前田　崇明
中家　　洋	圓井　健史	廣田めぐみ	植村　艶子	坂田　健治
西村　壽蔵	植木　　聡	湯口　義幸	南部　和義	吉原　　真
有本正之輔	松本　兵衛	湯口　秀之	山本三千代	杉本　　正
植村　俊夫	吉野　恭介	谷澤　倫生	田中　昭雄	坂口登志隆
太田垣美奈子	佐藤千栄子	帖佐　順子	河崎　真弓	松田　昌美
山岡　正博	瀧　　陽子	米山真由美	上島　誠一	谷口　輝明
國米　洋一	山﨑美登里	玉木　淳二	渡邊　喜好	田中　淳一
小谷　和子	長春　次郎	吉田　正人	竹内　修二	酒井　　勝
岡本　　博	木原　弘史	濱江　康雄	廣西　皓次	岡　　亨弘
山本　一郎	沖田　慎子	福井　恵子	前田　伸子	福嶋　慶子
谷本　道子	小谷　輝美	前田　教実	高田　充雄	谷口　定美
田中　嘉恵	大江　博臣	山根　将裕	豊田　　護	西村登美子

発行者

城北まちづくり協議会

事務局：城北地区公民館
鳥取市田園町4丁目223-1
TEL（0857）26－3997